

盛岡市立城内小学校の閉校について

平成28年2月15日

教育委員会

1 趣旨

盛岡市立城内小学校について、盛岡市小中学校適正配置基本計画に基づき、児童のより良い教育環境を確保するため、複式学級の解消について保護者及び地域住民と協議してきたところ、平成28年度末での閉校及び洪民小学校との統合について合意を得たので報告するものである。

2 経緯

- (1) 保護者や地域住民を対象に、平成25年から26年にかけて説明会を開催し、意見交換や協議を行った。
- (2) 平成27年11月10日付け白沢自治会長、山谷川目自治会長、城内自治会長及び盛岡市立城内小学校PTA会長の連名により「盛岡市立城内小学校閉校に関する要望書」の提出があった。
- (3) 平成28年1月18日開催の玉山区地域協議会に、要望書の提出があったことについて報告した。
- (4) 平成28年1月21日に城内小学校の閉校に係る説明会を開催し、教育長から保護者、地域住民に対して最終説明を行った。

3 今後の予定

- ・平成28年10月 盛岡市立城内小学校の閉校について教育委員会定例会に付議
- ・平成28年12月 盛岡市立学校に関する条例の一部改正（盛岡市立城内小学校の閉校）について市議会定例会に提出
- ・平成29年3月 盛岡市立城内小学校閉校式を開催

4 その他

(1) 閉校に関する要望書

別添資料のとおり

(2) 児童数推移

年度	児童数
平成24年度	14人
平成25年度	13人
平成26年度	16人
平成27年度	13人
平成28年度（予定）	16人

(写)

平成27年10月27日

盛岡市長 谷藤 裕明 様

白沢自治会 会長 米島 博悦



山谷川目自治会 会長 山内 一男



城内自治会 会長 竹澤 重利



城内小学校PTA 会長 太田 司



盛岡市立城内小学校閉校に関する要望書

盛岡市立城内小学校は140年の歴史を誇り、今まで様々な教育的成果を上げ、さらに地域の生涯学習中核施設としての役割を大いに発揮してきました。しかしながら、少子化が極めて顕著であり、今後さらに児童数が減少する見込みにあります。

今般、盛岡市教育委員会の学校適正配置基本計画の説明を受け、子どもたちにとってよりよい教育環境はどうあればよいかについて、保護者、地域で話し合ってきました。その結果、地域文化の要であり地域住民の心の拠り所である城内小学校をなくすることは誠に残念至極ではありますが、在学する児童の将来を考え、保護者・地域住民の総意として「閉校」もやむなしという結論に至り、下記のとおり意見をまとめました。

つきましては、盛岡市へのお願いとして別紙のとおり、要望事項をまとめましたので、閉校記念事業に関わる補助金の交付と併せて、よろしくご検討くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 城内小学校は平成29年3月末日まで存続させること。
- 2 城内小学校児童については、城内小学校閉校後は、渋民小学校に通学させること。併せて中学校区も渋民中学校区と変更すること。



(別紙)

盛岡市立城内小学校閉校に関する要望事項

- 1 本校児童の渋民小学校への学校生活・学習等の移行がスムーズに進むように、合同学習や行事等での交流などについてご配慮をお願いいたします。
- 2 児童・生徒の通学手段の確保について
城内小学校の閉校に伴い、渋民小学校・渋民中学校への通学手段（スクールバス）を確保するとともに、安全運行についても十分な配慮をお願いいたします。
- 3 盛岡市城内学童クラブの存続について
閉校後も今まで通り盛岡市城内学童クラブを存続させ、利用する児童のためにご配慮をお願いします。利用の便を図るため、スクールバスについても柔軟な運行をお願いいたします。
- 4 城内小学校施設の活用について
閉校後の城内小学校の校舎・体育館・校庭・備品等について、地域住民が利用できる施設として有効活用できるようにご配慮をお願いいたします。
- 5 その他、統合を進める際に生じる様々な面について、ご指導・ご支援・ご配慮を、お願いいたします。
- 6 今後、統合を進める際にあたって、保護者・地域・教育委員会で協議して決まった事項、新たに協議する教育方針や協議事項をこれから変更する場合も必ず両方で協議した内容を書面にして残すことをお願いします。